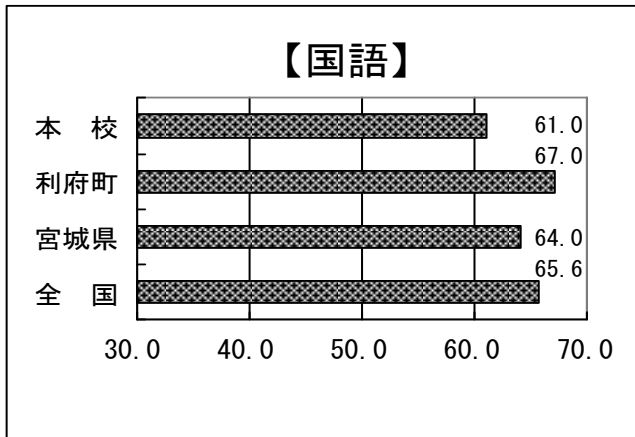


令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果とこれからの取組

4月19日（火）に、全国の公立小学校に通う6年生を対象に、「全国学力・学習状況調査」が行われ、その結果が7月下旬に届きました。これに基づいて、この度、本校の児童の学習や生活の状況について、よさや課題をまとめましたので、お知らせいたします。

1 学力調査の結果

(1) 【国語】（数値：平均正答率%，比較：全国の平均正答率との比較）

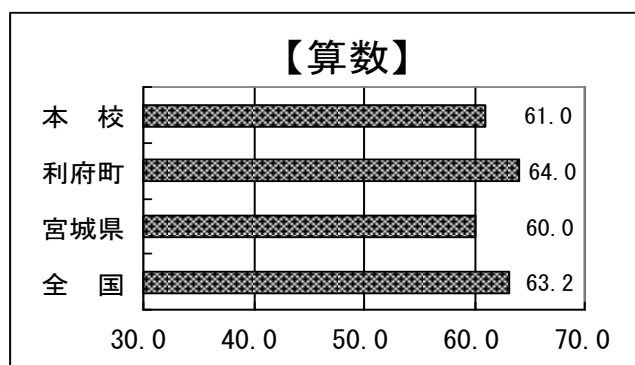


- ・国語については、全国の平均正答率を 4.6pt 下回りました。
- ・評価の観点別に見ると、「知識・技能」では 5.1pt 下回り、「思考・判断・表現」では 4.3pt 下回りました。
- ・学習指導要領の内容別に見ると、「知識及び技能」に関わる「(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項」では 6.2pt 下回り、「(3) 我が国の言語文化に関する事項」では 0.6pt 上回りました。また、「思考力・判断力・表現力等」に関わる「A 話すこと・聞くこと」では 10pt, 「B 書くこと」では 3.9pt, 「C 読むこと」では 1.6pt それぞれ下回りました。

具体的な学習状況（全国平均正答率と比較して、◎できていた問題 ●課題として挙げられる問題）

- ◎登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉える問題【問題番号2の一】
- ◎漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く問題【問題番号3の四】
- 必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉える問題【問題番号1の三】
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う問題（はんせい（反省））【問題番号3の三イ】
- 互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめる問題【問題番号1の四】

(2) 【算数】（数値：平均正答率%，比較：全国の平均正答率との比較）

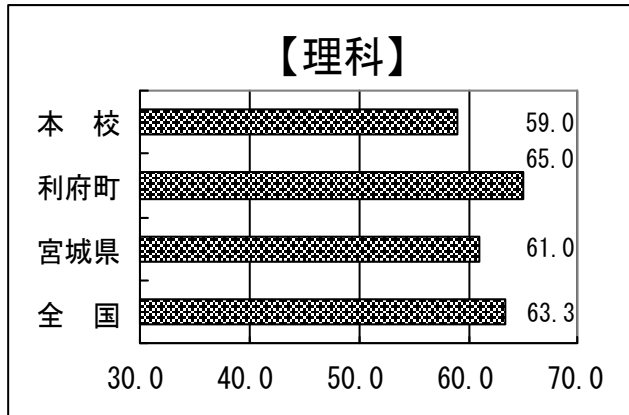


- ・算数については、全国の平均正答率を 2.2pt 下回りました。
- ・評価の観点別に見ると、「知識・技能」では 0.5pt, 「思考・判断・表現」では 4.2pt 下回りました。
- ・指導要領の領域別に見ると、「B 図形」では 0.2pt 上回り、「A 数と計算」では 2.4pt, 「C 変化と関係」では 1.3pt, 「D データの活用」では 5.6pt 下回りました。

具体的な学習状況（全国平均正答率と比較して、◎できていた問題 ●課題として挙げられる問題）

- ◎示された作図の手順を基に、図形を構成する要素に着目し、平行四辺形であることを判断する問題【問題番号4の(4) / 第4学年から出題】
- ◎二つの数の最小公倍数を求める問題【問題番号1の(2) / 第5学年から出題】
- 示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察する問題【問題番号1の(4) / 第4学年から出題】
- 正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述する問題【問題番号4の(1) / 第3・4学年の学習を生かして解く問題】
- 目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取る問題【問題番号3の(3)】

(3) 【理 科】(数値：平均正答率%， 比較：全国の平均正答率との比較)



- ・理科については、全国の平均正答率を 4.3pt 下回りました。
- ・評価の観点別に見ると、「知識・技能」では 1.7pt、「思考・判断・表現」では 6.4pt 下回りました。
- ・学習指導要領の区分・領域別に見ると、A区分の「エネルギーを柱とする領域」では 2.4pt、「粒子を柱とする領域」では 2.6pt 上回りました。B区分の「生命を柱とする領域」では 7.9pt、「地球を柱とする領域」では 4.3pt 下回りました。

具体的な学習状況（全国平均正答率と比較して、◎できていた問題 ●課題として挙げられる問題）

- ◎メスシリンダーの正しい扱い方についての問題【問題番号2】の（2）／第4学年から出題】
- ◎日光は直進することを理解しているかを問う問題【問題番号3】の（1）／第3学年から出題】
- 指示された情報を、複数の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつ問題【問題番号1】の（4）／第3学年から出題】
- 予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつ問題【問題番号4】の（2）／第4学年から出題】
- メスシリンダーという器具を理解しているかを問う問題【問題番号2】の（1）／第4学年から出題】

2 今後の取組について

【国 語】

- 「漢字の書き取り」の学習については、国語スキルタイムを活用しながら熟語や短文づくり等に取り組みせ、学習内容の定着を図っていきます。
また、どの教科の学習においても既習の漢字を使って文章を書くように指導や声掛けを行っていきます。
- 「伝えたいことや聞きたいこと」の中心を捉える問題」や「自分の考えをまとめる問題」では、文章中の主訴を捉えたり、キーワードとなる言葉や文を生かして考えたりすることに課題があるため、国語の読み取りの学習で書き手の意図を捉えたり、キーワードとなる言葉を使って文章を書いたりする学習を充実させていきます。

【算 数】

- 算数スキルタイムや家庭学習を活用しながら、小学校6年間の学習内容の復習に取り組みせ、学習内容の定着を図ります。また、習熟度別の学習など、児童一人ひとりの学習状況に合った学習ができるような環境を整えます。
- 全国学力調査の問題の振り返りや算数チャレンジ問題（宮城県教育委員会）のような思考を要する問題に取り組む機会を設けることで、数学的な思考力・判断力・表現力の伸長を図ります。

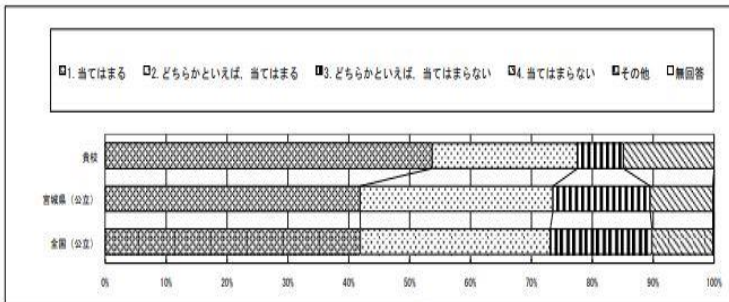
【理 科】

- 自主勉強などの家庭学習を活用しながら、既習の学習の振り返りに取り組ませています。
- 実験結果を考察する力と課題に沿ってまとめていく力を付けるために、日々の授業の中で考えを説明する活動を取り入れていきます。
また、理科用語を積極的に使って表現させ、身に付けることができるように指導を行っていきます。

3 学習状況調査の結果（数値：回答率％、比較：全国の平均回答率との比較）

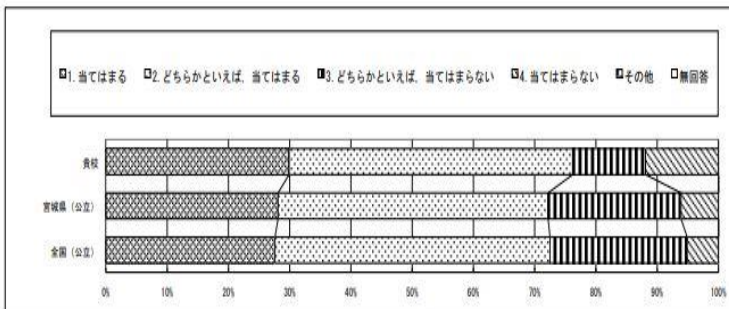
(1) よい傾向が見られる項目

① 読書は好きですか。



全国平均値に比べ、「好きだ」と回答している児童の割合が 11.8pt 高くなっています。図書室を利用する頻度や、調べ学習に生かそうとする姿勢からも、読書習慣の高まりが感じられます。今後も、朝の読書タイムと共に、学びに活用できる読書の力を育てていきたいと思ひます。

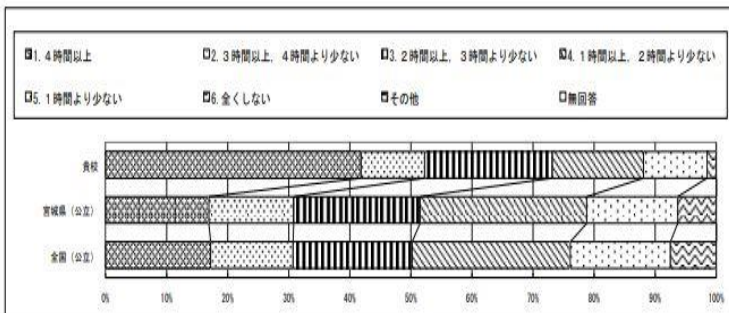
② 難しいことでも、失敗を恐れなひで挑戦していますか。



全国平均値に比べ、「当てはまる」と回答している児童の割合が 3.7pt 高くなっています。失敗した経験がない子供は、困難を乗り越える力が低くなると言われています。失敗を恐れずに挑戦することや失敗をチャンスと捉えることの大切さを、日々の生活や授業の中で指導していきます。

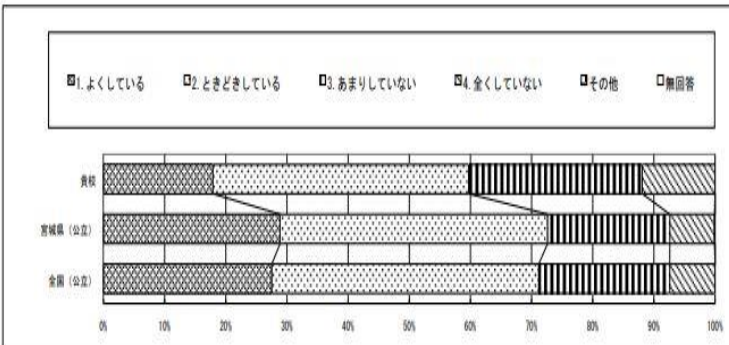
(2) 改善が必要と思われる項目

① 「1日当たりどれくらいの時間」(PCや携帯電話やスマートフォン等を使ったゲームも含む)をしますか。



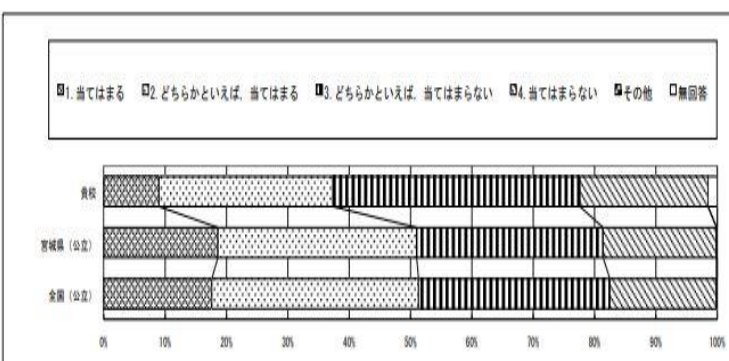
全国平均値に比べ、「4時間以上」「3～4時間」と回答している児童の割合が 21.5pt も高くなっています。関連質問「使い方の約束を守っている」の回答でも課題が見られています。心身の健康を保つ上でも、生活リズムや学習習慣とのバランスを考えた使用について考えることが大切です。

② 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。(授業の予習や復習を含む)



全国平均値に比べ、「よくしている」「ときどきしている」と回答している児童の割合の合計が 11.4pt 低くなっています。宿題の他にも、自分の学習状況に応じて学びに取り組む力を育てることが大切です。今後は、一人一人が自分に合った課題を設定したり、平日及び土日の学習時間の計画を立てたりできるように、個に応じた声掛けを行っていきます。

③ 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか。



全国平均値に比べ、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答している児童の割合の合計が 13.9pt 低くなっています。関連した質問で、地域の行事への参加の割合も低くなっています。今後は、地域のよさを考えたり、地域の教材を生かした授業を行ったりしながら、自分たちの住む地域に関心をもたせていきます。